

科目名	柔整総合 I					
分野	その他の分野	担当教員	北 道 徒			
開講時期	1学年 1学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	30		2			
科目の概要	柔道整復術を行う柔道整復師には身体に対する深い理解が求められる。本講義では、人体を構成する器官の中で最も基本となる「骨」への理解を深める内容となっている。骨の形態・特徴・役割を理解することはもちろんであるが、臨床家である柔道整復師育成を目的とした本講義では実際に「骨を触る」ことを通して、骨への理解を深めるとともに触診の技術向上を図る。					
学習の到達目標	200種類ある骨の理解、骨指標を触診できる技術の習得					
成績評価の方法と基準	筆記試験、実技試験における60%の得点、提出物					
使用テキスト	『解剖学 第2版』、配布資料					
参考文献	『解剖学 第2版』、『図解 四肢と脊椎の診かた』、『プロメテウス 解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系』他					
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	頭蓋骨を形成する骨①					
2	頭蓋骨を形成する骨②					
3	脊柱と胸郭を形成する骨①					
4	脊柱と胸郭を形成する骨②					
5	脊柱と胸郭を形成する骨③					
6	上肢帯を形成する骨①					
7	上肢帯を形成する骨②					
8	自由上肢を形成する骨①					
9	自由上肢を形成する骨②					
10	自由上肢を形成する骨③					
11	下肢帯を形成する骨					
12	自由下肢を形成する骨①					
13	自由下肢を形成する骨②					
14	自由下肢を形成する骨③					
15	総合評価(まとめ)					

(2025年度)